

# 新潟県医労連青年部ニュース

[発行] 新潟県医労連青年部

2018年11月16日 No.26

TEL 025-224-5951

FAX 025-224-8072

irourenn@topaz.ocn.ne.jp

## 日本医労連「青年学習交流集会」

# 人間らしい生活とは

日本医労連「2018年青年学習交流集会」が10月13日(土)～14日(日)、富山県・金太郎温泉で開催され、全体で80名、新潟から1名(ながおか)が参加しました。



1日目は、2つの講演。鈴木静教授(愛媛大学)による「人権としての社会保障の確立をめざして～津久井やまゆり園殺傷事件から問われる社会と福祉・労働～」。松浦万里子さん(反貧困ネットとやま代表世話人)による「憲法25条と医療・福祉労働を考える」でした。2日目は、最低賃金や最賃アクションプランについて学習した後、グループに分かれて生計費シミュレーションを行いました。報告記事を紹介します。

1日目の講演では、人権とは人間が人間らしく生きることを意味すること、また憲法第25条が規定する「健康で文化的な最低限度の生活」とは何かについて考え、学びました。そして2日目の生計費シミュレーションでは、自分の都道府県の最低賃金での生活について考えました。最低賃金になっても今の生活が続ける場合、どれだけ生計費を切り詰めなければいけないか実感させられました。結果として、最低賃金での生活は、趣味を楽しみながら自分らしい生活を営むには困難だと分かりました。



最低賃金は引き上げる事が必要と実感すると同時に、最低賃金の現状から日本国民全員が人間らしく自分らしく生活をするにはどうすれば良いか考える機会をいただきました。全国の仲間との交流も含め、有意義な2日間となりました。  
(ながおか医療生協労組 近藤裕貴さん)

各組合の青年部でニュース等を発行したら、県医労連にも送ってください!